

令和8年度 看護学部 一般選抜（前期日程）試験問題
総合問題Ⅰ 出題意図及び解答例

I

高等学校で習得した基礎学力、英文を正しく読み取りその意味や内容を理解し英語で表現する力、適切な日本語で分かりやすく表現する力や論理的思考力を問う。

問1

目的：平均寿命をのばす教育の効果の程度を数値で具体的に表すこと。(29字)

分かったこと：教育年数が1年増えるごとに死亡リスクが約2%低下した。(27字)

問2

(A) ア (B) イ (C) ウ (D) エ

問3

[a] ② [b] ③ [c] ① [d] ④

問4

社会的経済的発展の度合いが違っていても、教育期間が長ければ長いほど寿命をのばすことができる。(46字)

問5

18年間の学校教育を受けることは、成人にとって理想的な量の野菜を摂取すること、または、1日に行う身体活動として推奨されているレベルの活動を行うことと同等の効果がある。

問6

誰もが同じように教育を受けられるわけではないことが、健康と死亡率の不平等の一因となっている。

問7

教育へのアクセスが拡大すれば[教育の機会均等が進めば]、世界中の人々がより長く、より健康的な生活を送れるようになるだろう。

令和8年度 看護学部 一般選抜（前期日程）試験問題
総合問題 I 出題意図及び解答例

II

高等学校で習得した基礎学力、文章理解力、語彙力、設問の趣旨にそって表現する力や論理的思考力を問う。

問 1

- ・ 1996年頃に日本に原産地の天敵であるブタクサハムシが侵入した
- ・ 植物上で交尾・産卵すること
- ・ 孵化した幼虫はすぐに周囲の植物を旺盛に食害すること
- ・ 爆発的に個体数が増加すること

問 2

① (d) ② (e) ③ (g) ④ (h) ⑤ (g)

問 3

食草のシフトは数万から数百万年に一度の大規模なイベントで、人間が実際に目にする
ことが困難であるが、ブタクサハムシにおいて実際に起きていることを確認できたため
(78字)

問 4

ブタクサハムシの顎形態が変化した。

問 5

北米産のブタクサハムシに、北米産のオオブタクサを与えた場合、ほとんどの幼虫は死んでしまい、日本産のオオブタクサを与えた場合、25%が成虫になった。このことは、オオブタクサの防御力の低下するような進化が起きていたことを示している。

また、日本産のブタクサハムシは、北米産でも日本産のオオブタクサでもほぼ成虫になることができていた。このことは、日本に侵入してからのブタクサハムシが、新しい食草であるオオブタクサに急速に適応進化していたことを示している。